

Title	『郷土制度の研究』の著者へ
Sub Title	
Author	國分(Kokubu)
Publisher	三田史学会
Publication year	1926
Jtitle	史学 Vol.5, No.4 (1926. 11) ,p.172(632)- 172(632)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19261100-0174

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「トム・ジョオズ」の可なり詳しい筋の物語など、力と時間とを要するお仕事の御披露、おすそ分けは、我々一般の英文學愛好者には、誠にありがたい贈物、英文學普及の名に於て、謹んでお禮申しあげます。

中にも、これもその道の達人、平田禿木氏著に關する「英文學印象記を讀んで」の一篇は、その昔、自分が、まだなま青い書生の頃、先輩格の友人の談話を傍で謹聽しながら、話の中に、次から次へと出てくる書物や、人物やらの、自分には、多くは初耳の名前に、ほと／＼己が無學を持てあまし、歸宅の際、最早その書物を買ひ、又は人物傳をあさり求めて、次の會合までに、五分ても、一寸でも、己が知識の不足を補つておかうとした四十年の過去が思ひ出され、御兩人の英國通のお物語には、つくづく感にうたれて聽き耽りました。たゞ今から、この身の不足をどううめやうかと、それが心配の種です。

明治の五十年も過ぎ、大正も正に十五年、英文學の玄人味のお話、同胞の口から承れるやうになつたのかと思ふと、世は進んだものだなあ！と、深く感じ入ります。例のシェエのお嫌ひも、食通の間によくきく、「あの家の食物も、近頃めつきりまづくなりましたね」「それもそうだらうが、つまり君の口が肥えてきたのさ」と云ふ流儀かと存じます。

秋の半ばの星の空にも似て、おのが向き向きに輝く英文學壇の諸星座の指導の書として、自分は、この一書が、我が出版界に現はれたのを心からよるこぶ。(岡倉由三郎)

東京朝日新聞所載

『郷土制度の研究』の著者へ

私は、小野武夫氏著郷土制度の研究を大嘗若流に雨の一日で轉讀してみた。百五十五頁に至ると、私の郷里である庄内(山形縣酒田港)の本間家のことが載つて居る。而して此本間家の記事は、私共の聞いて居つたことと些か異つて居る。即ち「本間家は本邦第一の大地主であつて、其不動産は維新以前十萬石高を唱へ云々」とあるが、本間家は本邦第一の大地主でないことは勿論、十萬石高の收穫もなかつたことは、現在の本間家が賣却して居る米穀の石數から推算すれば容易に窺ひ得るのである。此賣却石數は現今の世評に依れば約三萬石餘というて居り、舊藩時代は六萬俵というて居つた。(庄内藩では一俵五斗二實際は五斗一、二升位も入つて居つたさうである。)問題にする程のことでもないが、一寸思ひ出したから認めた。(大正十四、七、十二、國分生)

寄贈交換圖書雜誌目錄

- 武庫地方郷土史料目錄
- 石川縣天然紀念物調査報告第二輯
- 國學院雜誌第三二の八、九
- 神學協會雜誌第二五の七、八
- 東洋學報第一八の二、三
- 民族學第一の六
- 墓蹟第三輯
- 龍谷大學論叢第二六九號
- 史林第一一の三
- 藝文第一七の七、八
- 國民經濟雜誌第四一の一、二、三
- 史學雜誌第三七の七、八
- 考古學雜誌第一六の七、八、九
- 日本文化大正十五年七、八、九
- 朝鮮史學第七號
- 佛教研究第七の一、二

- 吉井太郎氏
- 山日高等學
- 石川縣大學
- 國學院大學
- 神學協會
- 東洋學協會
- 民族學協會
- 墓蹟發行所
- 龍谷大學
- 史學協會
- 京師高等商業學
- 神戶高等商業學
- 史學協會
- 考古學協會
- 里見日本文化研
- 朝鮮史學同攻會
- 大谷大學佛教研究會